

平成30年度栗東市地域福祉計画委員会 議事概要

日時	平成31年2月14日(木) 午前10時00分～午前11時05分
場所	栗東市役所 2階第1会議室
出席者	<p>岡野英一(学識経験者)、村田智美(学識経験者)、平田善之(社会福祉協議会)、青地勲(社会福祉協議会)、宮城安雄(なかよし福祉会)、横山真弓(グランマの家保育園)、中村末雄(民生委員児童委員協議会連合会)、池田久代(ボランティア関係者)、吉仲幸子(老人クラブ連合会)、上田紀子(女性団体連絡協議会)、堀内恵美子(心身障害児(者)連合会)、清水憲(自治連合会)、山口克巳(自治連合会)、清水久輝(草津・栗東地区労働者福祉協議会)、金城ゆみ子(同和対策促進連絡協議会)、北川聡(校長会)、北村一子(公募委員)、田中啓久(公募委員)、</p> <p>【栗東市】 伊勢村文二(福祉部長) 社会福祉課：太田聡史(課長)、相宗孝文(課長補佐)、田邊みのり</p> <p>【関係者】 寺井利彦、山中忍恵、中沢有紀、本間由樹、武田真治、横本雅幸(栗東市社会福祉協議会)</p> <p>他2名欠席</p>
傍聴者数	0名
内容	<p>(1) 協議事項</p> <p>① 委員長及び副委員長の選出について</p> <p>② 「第3期栗東市地域福祉計画」に係る平成30年度事業計画の進捗について</p> <p>(2) 報告事項</p> <p>コミュニティソーシャルワーカー(CSW)の活動について</p> <p>(3) その他</p>

1. 開 会

2. 市民憲章唱和

3. あいさつ

(福祉部長)

本日は栗東市地域福祉計画委員会にご出席賜りまして誠にありがとうございます。また、日頃は本市の福祉行政に格別のご協力を賜りまして厚く御礼申し上げます。

さて、現在と将来に渡り、我が国の大きな課題の一つは、急速な高齢化社会の到来、そして、少子化

によります人口減少だと言われていています。栗東市も基本的には同じ状況でございます。中でも、高齢の方や障害のある方に限らず、社会的孤立といったことが大きな問題となっております。その他にも、生活困窮やDV、虐待死、そして災害時の避難支援など、地域に関わる問題が複雑多様化しています。そして、行政や福祉医療の関係者が連携して包括的な支援を行なうといったことが以前から言われていますが、併せて、誰も置き去りにしない、地域での助け合いといったことがより必要な時代になってくると考えられます。本日、庁舎の玄関に入られて正面に、金澤翔子さんの揮毫によります、「共に生きる」と大書された額が掲げられているのをご覧になられた方もいらっしゃると思います。この考え方を地域での支え合いの仕組みにまでできればという思いです。本日の会議では、昨年度本委員会において検討いただきました、第3期栗東市地域福祉計画の基本目標である、「人と人がつながる共生のまちづくり」を具現化する中で、今年度からは、この計画の進行管理をさまざまな分野でご活躍いただいている皆様からご意見を賜る中で進めてまいりたいと考えています。皆様方のご協力をお願い申し上げまして、開会にあたりまして挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

4. 各自自己紹介

5. 報告事項

- ・ 2名の委員が欠席。
- ・ 委員委嘱は本日から2020年3月31日まで。
- ・ 団体からの選任により委嘱している委員が交代をされた場合、残任期間は次の方に改めて委嘱する。

6. 内 容

(1) 協議事項

① 委員長及び副委員長の選出について

(事務局)

本会の規定により「委員長及び副委員長は委員の互選とする」と定められております。どのようにお決めさせていただきますでしょうか。お諮りいたします。

<特に意見なし>

(事務局)

特にご意見等無いようでしたら、事務局案を提示させていただいてもよろしいでしょうか。

<「異議なし」と呼ぶ者あり>

(事務局)

それでは、事務局案を示させていただきます。

委員長につきましては、本計画の策定の段階から委員長として関わっていただきました龍谷大学の村田委員に、また副委員長についても同様に栗東市社会福祉協議会の平田委員様にお願いしたいと思っておりますがいかがでしょうか。

<「異議なし」と呼ぶ者あり>

それでは、村田委員長様、平田委員副委員長様、よろしく申し上げます。

<席移動>

(委員長)

第2期と第3期の地域福祉計画に関わらせていただき、いよいよ地域で地域福祉というものを具体的に展開できる時期に入ってきていると感じています。先ほどの部長の挨拶にもあった通り、メディアで取り上げられる痛ましいニュースを含め、近年多く発生する災害などにより、地域社会全体で人の生活に関わっていく必要性がますます高まっているということは、皆様自身感じ取られていると思います。計画を実践していく過程での点検・評価の部分において、皆様にお力を貸していただきたいと考えておりますので、よろしくお願いたします。

では、協議に入ります前に、本日の次第にはありませんが「会議の公開」についてお諮りしたいと思います。事務局より説明をお願いします。

(事務局)

本市では「栗東市附属機関等の会議の公開に関する要領」において会議は基本的に公開となっております。ただし、内容によって非公開に該当する事項がある場合は協議により公開・非公開の決定をいただきます。会議を非公開とするのは主として個人情報や財産の保護、事業の意思形成過程にあるため公開にすることで支障が生じる場合などです。この委員会においてはそのような理由に該当する事項がありませんので基本的に公開するものと考えられます。また議事録においても同様です。

つきましては、この会議の公開とすることについてお決めいただきたいと思っております。

(委員長)

ただいま事務局から説明のあった通り、この委員会を公開としてよろしいでしょうか。

<「異議なし」と呼ぶ者あり>

(委員長)

ご異議等ないようですので、本委員会を公開といたします。

では、協議事項②「第3期栗東市地域福祉計画に係る平成30年度事業計画の進捗について」の協議に入ります。事務局よりお願いします。

② 「第3期栗東市地域福祉計画」に係る平成30年度事業計画の進捗について

(事務局)

それでは、説明させていただきます。先ほどの公開に関しまして、本日は傍聴者を希望される方はおられませんことを報告させていただきます。

昨年度策定いただきました本市地域福祉計画について、大変遅くなりましたが製本された計画書を皆様の机の上に置かせていただいております。また併せてカラーのダイジェスト版も置かせていただいております。

委員の皆様におかれましては、計画策定から携わっていただきまして、大変ありがとうございます。また、「第3期栗東市地域福祉計画」の概要について、改めましてご説明申し上げます。

<事務局より、「第3期栗東市地域福祉計画」の概要について説明>

(委員長)

ただいま、事務局より計画の説明がありましたが、委員の皆様から何かご意見やご質問はありますでしょうか。

(委員)

A3資料11 ページ No.91 のCSW についてですが、「地域福祉推進圏域において、地域の課題を解決できる仕組みづくりに取り組みます。」と書かれています。地域福祉推進圏域は、基本的には中学校区となると思いますが、現在どのような形で進めているのでしょうか。また、今後どのような方向性で進めていくのでしょうか。

(事務局)

現在は、市全体でCSWは1名の配置で動いていただいています。5年の計画の中で順次、その圏域の中で活用できる環境づくりを考えているところでございます。

(委員)

ダイジェスト版の冊子の2ページの意識調査の結果の表で、隣近所で話す程度の付き合いの人が多いというのが表れています。私の住んでいる地域では、住宅の開発が進み、心を割って話をする付き合いができない状況になっています。計画を達成するために、今後どのような形で進めていく予定でしょうか。

(事務局)

計画本編の35ページの意識調査の結果で、もう一つのキーワードは二極化の部分があるということを書かせていただいています。この表でも、金勝学区と大宝学区では傾向が大きく違います。支え合いの仕組みが残っている所と希薄になっている所が栗東市内でも混在しています。また、70歳以上の25.8%がボランティア活動をしていると回答されていますが、それ以外の世代ではボランティア活動

をしている方は少なく、世代の中でも社会参加への意識が二極化していることが見えてきています。本課だけでもできない取り組みもありますが、それぞれの計画はそれぞれの担当課で作っておりますので、共通意識を持って進めていく必要があると思います。例えば、「災害時避難行動要支援者登録制度」もご近所付き合いがあつての仕組みです。そのような制度を進めていく中で、地域福祉の向上に結び付くことを目標に取り組んでいます。

(委員長)

行政や社会福祉協議会のほうで、関心の低い地域に積極的に介入していただきたいと思います。次の計画を作る際には、同じアンケートを実施して、オレンジや緑の部分が飛躍的に伸びるように考えていただきたいです。

それでは、続いて(2)報告事項に移ります。

コミュニティソーシャルワーカー(CSW)の活動についてです。事務局から説明をお願いします。

(2) 報告事項

コミュニティ・ソーシャル・ワーカー(CSW)の活動について

(事務局)

それでは、報告事項のコミュニティソーシャルワーカー(以下「CSW」という。)の活動について報告いたします。

<事務局より、CSWの役割について説明>

現在、社会福祉協議会に今年度より1名の専門職として本間さんに活動していただいています。なにごぶん今年度から始まった取り組みですので試行錯誤の中での活動です。

それでは、本日は今年度の取り組みについてパワーポイントを用いて報告していただきます。

<社会福祉協議会の本間氏より、パワーポイントを利用して活動報告>

(委員長)

ただいま、報告がありましたが、委員の皆様から何かご意見ありますか。

(委員)

本間さんの報告を聞いて、CSWの活動を一人でするのは大変だと思いました。もう少し横についてくださる方を増やしていただくよう、要望されてはどうかと思いました。

(事務局)

計画の中では、中学校区域に1名の配置というのが目標です。予算の関係やさまざまな事情により、今年度1名からの配置で活動していただいております。個別支援には入っていますが、例えば、学区民

生委員児童委員協議会と連携いただく仕組みの必要があると思っています。今日頂いたご意見を踏まえて、今後4年間の中で改善できればと思います。

(委員長)

地域の中で起こった事例は、その中で共有できるような仕組み作りをしていただきたいと思います。それでは最後に「(3) その他」について事務局説明をお願いします。

(3) その他

(事務局)

それでは今後の予定についてご説明申し上げます。現在、市では来年度に向けた予算の編成をしている最中であります。この地域福祉計画に関係する事業もそれぞれの所属において個々の計画等に基づき事業計画を立てて予算編成を行っております。本課・社会福祉課におきましても今年度の実績に基づき基本的に引き続き取り組んでまいる予定です。本日頂戴しましたご意見も、議事録を作成し、各関係課と共有を図る中で、今後の取り組みの参考とさせていただきたいと考えます。

開催の時期は決まっておりますが、来年度におきましても、当委員会を開催し、報告と併せましてご意見をいただきたく存じます。その他事項は以上です。

7. 閉会

(委員長)

以上をもちまして、平成30年度栗東市地域福祉計画委員会を終わりたいと思います。では、進行を事務局へお返しいたします。

(事務局)

村田委員長様ありがとうございました。

また、委員の皆様、本日は大変ありがとうございました。

以上をもちまして平成30年度栗東市地域福祉計画委員会を閉会させていただきます。

以上